総務委員会事業報告・事業計画

総務委員長　岩倉睦弘

総務委員会は、
①同窓会運営に必要な同窓会費の目標額達成するため、会員皆様への納入促進。
②静商学校内に設置されている、静商ギャラリー海野光弘記念館」の管理運営。
③本年度開設した「同窓会会議室」の管理。
④同窓会名簿の管理
などの活動を行っています。

【同窓会会費目標額達成活動】

会費の目標額（平成二十八年度四、一八一、〇〇〇円）を目標額として、卒業回卒毎に目標額を設け、達成した回卒に、総会時に感謝状を贈呈しています。

◎平成二十八年度目標額を達成した回卒

第52回卒　六八、〇〇〇円
第56回卒　一五七、〇〇〇円
第57回卒　一六五、〇〇〇円
第60回卒　二八〇、〇〇〇円
第63回卒　二三〇、〇〇〇円
第65回卒　二〇五、〇〇〇円
第66回卒　二四九、〇〇〇円
第71回卒　二七一、〇〇〇円
第75回卒　二三一、〇〇〇円

同窓会総会・懇親会、静商成人式開催時での直接徴収や同窓会報でのPR、同期会、支部を変更しました。
変更後　平日（年間）十時から十五時
中学生一日体験、文化祭、オープンキャンパス等学校の行事の日は随時開館します。

【同窓会会議室の管理】

平成二十九年四月から、静商ギャラリーの隣室に「同窓会会議室」（定員五十名）を開設しました。同窓会、同期会、クラス会などの打ち合わせ等にご利用ください。

【同窓会名簿の管理】

転居や住居表示の変更などにともない郵便がとどかない会員が増えております。各総代の皆様のご協力をお願いいたします。
住所を変更したときは、同窓会事務局までメールまたは電話、FAX等でご連絡をお願いします。

組織委員会事業報告・事業計画

組織委員長　古牧清孝

組織委員会は、事業計画に基づき組織の強化を目標として活動しております。
平成二十九年度の計画は、
・同窓会活動の根幹である各学年同期会の立ち上げ、各部活OB会立ち上げに積極的支援を行う。
・各年代ブロック長、各委員との活動報告や意見交換を行う。
・活力ある同窓会組織のため若手Gr活動の積極支援啓蒙を行う新入会員と新成人の代表を総会に招待。
・「日本人の食について」をテーマとした女性会員を対象に第五回女性セミナーを平成二十九年七月八日に開催いたしました。
・第14回ゴルフ大会を十月十八日（水）リバー富士で開催いたしました。
・新成人の集いを若い組織強化啓蒙のチャンスと捉え積極支援致します。
・中心的な活動を期待する70回卒代の代表者会費の納入、総会当番のスムーズなバトン等を要請しました。
・80回卒についても組織強化を図り会合を開きました。
・第四回ウォーキング学習会を十一月二十六日（日）開催致今期も会員の皆様の御参加をお待ちいたしております。
また、同好会、各支部についても支援をしております。
よろしくお願い致します。

教育振興委員会事業報告・事業計画

教育振興委員長　鈴木雅之

当委員会は、これまでの「教育振興基金管理・運営委員会」から「教育振興委員会」に名称を変えることにいたしました。理由は、基金の管理運営業務を本部会計に移管することになったため、従来の名称から『基金管理運営』をはずし、教育振興に特化した委員会として再出発することになりました。
事業内容は、従来から実施してきた次の一～三の項目をお願いいたします。
一、優秀生徒の表彰
二、全国大会等への派遣助成
三、検定等能力向上への支援

本年度からは次の事業

四、生徒主体事業への支援
を新たに加え、教育振興の拡充を図ります。
四の新事業の紹介ですが、いずれも生徒が自発的に行う課題研究に支援するものです。

「教育振興基金管理・運営委員会」から「教育振興委員会」となる。

クラブ奨励委員会事業報告・事業計画

クラブ奨励委員長　神山和男

同窓会の皆様には、日頃より母校部活動に対し多大なるご支援ご協力を頂き誠に有り難うございました。
昨年度の委員会活動状況は次のとおりです。

部活動への支援

一、弓道部　弓　一張
二、サッカー部　ゴール、カラーコーン　十二個
三、女子バレー部　トレーニング用品、ストレッチボール　ほか二十五個
四、簿記部　簿記テキスト　二十冊
五、情報処理部　五十インチモニター

外部指導者への支援

十八名の指導者の方々に対し、日頃の活動に対し感謝を申し上げるとともに支援金をお渡ししました。
三年生主体の各大会も終了しましたが、今年度も素晴らしい成績をあげたクラブがたくさんありました。
東海大会には、水泳部、陸上部、男女ソフトテニス部、軟式野球部、情報処理部、簿記会計部が出場しました。
全国大会には、男子ソフトテニス部、水泳部、情報処理部、珠算部が出場しました。
本年度も、各部活および静商部活動外部指導者への支援を実施いたします。

本年度用品・用具支援対象クラブ

軟式野球部、硬式野球部、卓球部、音楽部、珠算部、書道部
静商部活動外部指導者への支援金の配布
平成二十九年十一月末までには配布の予定です。
同窓会の皆様には、是非試合会場等に足を運んでいただき、熱い応援をよろしくお願いします。

平成28年度静商同窓会会計決算・予算書

自 平成28年４月１日　至 平成29年３月31日

（収入の部）　（単位：円）

費目	平成28年度予算額	平成28年度決算額	平成29年度予算額	備考
前年度繰越金	6,294,541	6,294,541	6,553,930	
入会金	2,850,000	2,850,000	2,760,000	卒業生276名
年会費	5,000,000	4,181,000	5,000,000	
寄付金	300,000	600,000	0	クーポール会館様 他
繰入金	0	0	3,800,000	特別会計より繰り入れ
雑収入	20,000	59,139	120,070	利息他
合計	14,464,541	13,984,680	18,234,000	

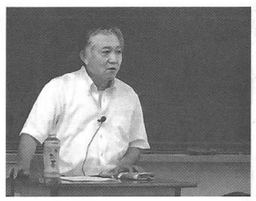
（支出の部）

費目	平成28度予算額	平成28年度決算額	平成29度予算額	前年度備考
会議費	10,000	9,425	100,000	会議資料代等
総会費	800,000	800,000	800,000	定時総会費
事業費	4,500,000	4,356,134	10,350,000	静商ギャラリー管理費、会費振込用紙発行費、会報発行費、クラブ助成費、組織強化費、教育振興費
事務費	2,150,000	2,166,283	2,250,000	
予備費	100,000	98,908	1,000,000	
計	7,560,000	7,430,750	14,500,000	
次年度繰越金	6,904,541	6,553,930	3,734,000	
合計	14,464,541	13,984,680	18,234,000	

※大項目のみを掲載。詳しくは、定時総会の資料をご覧ください。

待月様社長八木氏を迎えて「日本の『食』について考える」

第５回女性セミナー開催



五回目を迎えた「女性セミナー」は、七月八日、静商同窓会会議室で開かれた。今回は「日本の『食』について考えよう」と題し、待月様社長の八木章夫氏が講演した。八木さんは、静商卒業後、大阪吉兆にて修行待月楼に入り、最近は、食育応援団として小中高生に日本の食文化を伝えるために、調理実習・講演も行っている。八木さんには、昨年「丸子路を歩く！」で、ところめしを提供していただき、約百名の参加者が伝統の味に舌鼓を打ったことも記憶に新しい。
講演内容は以下の通り。
近年、「和食」は世界文化遺産に登録され、WHOでも日本食は身体に良いと認め世界中から注目を集めている。今や「うまみ」という言葉は世界共通語にもなっている。しかし、実際にかつお節と昆布でダシとって作る和食をどのくらいの家庭で子供や孫に伝えているだろうか？　ちなみに参加者三十八人中、毎朝味噌汁を食べている人は五～六人だった。
味噌汁は、季節によって味噌を換えるのがよい。夏は汗をかくので、塩分の多い赤味噌を使い、冬は白味噌を使う。春秋は合わせ味噌。ダシは、かつお節と昆布を一晩漬け十五分ほど煮て取り出す。このひと手間が本物の味を作り出す。本物のダシを食し始めると化学調味料はまずいと感じるようになる。また塩分も減らせる。日本人は塩分の摂りすぎである。
この日は「焼き赤パプリカの三杯酢かけ」と「ごま豆腐の黒蜜かけ」の二品を試食品として用意していた。酵素たっぷり、夏バテ、老化防止の食べ物だ。
最後に八木さんは、料理とは、家族に美味しいと言って食べてほしいと思う気持ち―すなわち「愛」である。毎日の食事は努力して目先を変えて欲しい。医食同源と言って食事はとても大切。私たちは次世代にこの素晴らしい「和食」を伝えていく使命がある・・と強調して講演を終えた。
八木章夫氏は静商第79回卒。先代の父親は第37回卒の静商一家である。（敬丸）

訃報

松本　茂先生（第18代校長）
第18代校長として母校の発展のためご尽力されました。
昭和60年４月～昭和62年３月在籍。
平成29年１月21日ご逝去

池ヶ谷恒雄氏（第47回卒）
元静岡市議会議員として市発展のため、また第47回総代として同窓会発展のために頑張っていました。
どうぞ皆様方には倍旧のご理解、ご支援をお願い致します。
平成29年２月15日ご逝去

稲葉茂男先生（元教諭）
母校教諭として母校発展のために尽力されました。
昭和46年４月～昭和51年３月在籍。
平成29年６月15日ご逝去

牧田泰二先生（元教諭）
母校教諭、また教頭として長年にわたり母校の発展にご尽力されました。
昭和26年４月～昭和48年３月在籍。
昭和50年４月～昭和55年３月在籍、教頭
平成29年９月７日ご逝去

①静岡茶の魅力再発見の研究で考案した「お茶&レモン」を販売したいとのことから製造原資の助成を行いました。
②ビジネスのスキルを用い、社会問題を解決していくソーシャル・アントレプレナー（社会起業家）の研究で、今回被災地の復興をテーマに何をすべきかを追求するため、実際に現地に行って学びたいとの熱意から旅費を助成しました。
生徒たちも静商活性化のために頑張っています。
どうぞ皆様方には倍旧のご理解、ご支援をお願い致します。

平成28年度　教育振興基金管理運営委員会決算書

自 平成28年４月１日　至 平成29年３月31日

収支の部　（単位＝円）

項目	平成28年度予算	平成28年度決算	備考
前年度繰越金	61,895,438	61,895,438	
寄付金	0	0	
雑収入	700,000	211,550	各種預金利息
運用資産譲渡益	0	0	
合計	62,595,438	62,106,988	

支出の部

項目	平成28年度予算	平成28年度決算	備考
教育振興基金	6,300,000	3,646,618	
学業優秀生徒表彰金	700,000	617,400	記念品（時計）
選手派遣助成金	1,500,000	1,014,000	全国・東海大会出場者
優秀生徒表彰費金	250,000	198,636	
功労生徒表彰費金	50,000	15,552	
課題研究助成金	300,000	429,888	ハングル語講師雇入、ホームページ発案
同窓会活動支援金	3,500,000	1,371,142	女性セミナー、成人式、関東支部、関西支部、岩代会、硬式野球部後援会、応援団フェスティバル等支援
運営費	180,000	90,554	
会議費	100,000	62,764	
事務費	50,000	19,500	
通信・雑費	30,000	8,290	
支出合計	6,480,000	3,737,172	
次年度繰越金	56,115,438	58,369,816	
合計	62,595,438	62,106,988	

支部・同期会・同期生短信

◎同窓会ホームページを平成29年11月中旬リニューアルします。ぜひご覧ください。卒業生の企業やお店の紹介コーナーもあります。掲載ご希望の方は同窓会本部までご連絡ください。詳しくは　同窓会本部　０５４－２２１－７０３０まで

平成二十八年　秋の叙勲

五十嵐昭夫氏（第64回卒）
平成二十八年秋の叙勲で瑞宝小授章を受章されました。
氏は、一九六五年海上自衛隊に入隊。潜水艦の艦長を経て第二潜水隊司令となり、二〇〇一年定年退職した。長年にわたり公務に従事した功績が認められて受章された。
（関東支部会報より）

平成二十九年　春の叙勲

宗野賢次氏（第61回卒）
平成二十九年春の叙勲で藍綬褒章を受章されました。
氏は、静商を卒業後、東京浅草のお茶問屋に入社。昭和五十年に埼玉県狭山市に茶専門店（有）ソウケを開業し、その傍ら保護司として尽力され、更正保護事業に寄与したことが認められて受章された。

関東支部

関東支部総会・懇親会開催

七月十六日（日）、東京・一橋の学士会館において静岡同窓会関東支部総会・懇親会が、眞木万平校長先生・赤石文男同窓会長はじめ本部役員ご列席のもと、応援団ＯＢの方々、支部会員の総勢百八十一名で開催されました。
今年度は役員改選期に当たり、次のとおり選任されました。（敬称略）
支部長　吉澤英一（重任）
副支部長　原　初典（重任）
副支部長　岡本朗子（重任）
会　計　岩下喜美枝（新任）
会計監査　鈴木一晴（重任）
会計監査　高山康明（重任）
懇親会では郷土名産品販売のほか、会場で蕎麦打ちの実演を行い、抽選にて生山葵付きで販売しました。
応援団ＯＢによる応援パフォーマンスと『ビバ静商』で大いに盛り上がりました。
▼http://www.tcs-ne.jp/~seido/
連絡先　関東支部広報部会
相川雅美氏（昭48年卒）

中部支部

新たな中部支部

平成二十八年度は、同窓会本部役員と学校関係者をお招きして、平成二十八年十一月十二日（土）主税町クラブ（名古屋市東区）において、中部支部総会・懇親会を会員十八名の参加で開催しました。
古牧清孝同窓会組織委員長から本部の活動状況、堀川裕男副校長から静商の方針・現況など新鮮なお話をいただきました。
事業報告、会計報告など全ての議案の承認を得ました。
続いて、大野房雄様（第57回卒）の乾杯で懇親会が始まり、小田巻登様（第57回卒）の太極拳四段位取得、横山昌弘様（第54回卒）の貴重なるキューバからプロ野球選手の日本初獲得の苦労話、クイズ大会で大変盛り上がり、時間延長での校歌斉唱、岩田孝行様（第58回卒）の応援エール、長谷川榮一様（第58回卒）の一本締めと限りなく続き、最高の一日となりました。
本年は、会員の皆様及び本部のご支援により、中部支部は創立十五周年を迎え、この喜びの記念総会を平成二十九年十一月十八日（土）嬉文・名駅店にて開催致します。総会・親睦会を盛り上げるべく、役員一丸となって張り切っておりますので、引き続きご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。
▼連絡先
杉山隆司氏（第67回卒）
☎090－6332－6523
FAX　052－882－4015
Eメール
ryuiji-sugiyama@qc.commufa.jp

関西支部

関西支部は二十九年度支部総会・懇親会を六月二十四日（土）新大阪ワシントンホテルで開催。来賓に本部から赤石会長、下村副会長、山本新幹事長、母校から東海林副校長。ふじのくに領事館永井領事、誉田大阪静岡県人会長のご出席をいただきました。
総会審議では本年は役員改選期であり、新井支部長が勇退して、富坂が支部長に交代しました。記念撮影の後の懇親会は大先輩の古き静商の話、静商小唄などで会場は盛り上がり、ふるさとの黒はんぺを舌鼓ながら楽しいひとときを過ごし、最後は校歌応援歌を合唱し散会しました。
十月十五日（日）は全国女子相撲選手権大会が大阪堺市の相撲場で開催されます。これに山中未久さん（13回卒）静岡県代表で出場するので、関西支部から応援に行く予定です。毎年静岡県は優秀成績が続いているので、今年もおおいに期待しています。
▼連絡先　富坂誠二氏
☎072－699－0256
Eメール
seitomisaka@maia.eonet.ne.jp

島田支部

島田支部総会世話人及び懇親会が、平成二十九年八月二十四日（木）後五時三十分から島田市にある三祐会において開催された。
清水克俊支部長（第57回卒）より、当支部再び編成をしてから二年目になり、組織の要となる世話人会がかなり出来てまいりました。今後更なる会員増強発展にご尽力をお願いしますとの挨拶がなされた。
これまでの経過報告が、井上勝彦氏（第57回卒）より、仮称女子会もこれまで2回開催、6名中4名出席され、さらに今後共、会員増強に力をれていきたい」との力強い報告があり、今後の方針として、「石部一之氏第63回卒は、十一月ごろに会員増強と親睦を合わせて支部会を開催したいとの方針が発表された後、懇親会に入り、和気あいあいの内にお開きとなった。
（第65回会16　増田正蔵）
▼連絡先　支部長　井上克彦氏
島田市氏岡町８３７３－２

SC33回

（第59回・昭33年卒）

我々59回生は、十一月二十五日（金）の良き日クーポール会館に於いて故援歌の流れる中、校旗の元に同窓生五十人が結集した。
卒業当時三七〇名の仲間のうち七十名程度の物故者に黙祷を捧げた。
我々喜寿の祝も兼ねており、賑やかな会であった。特に十七名及ぶ女性の出席者の元気さが目立った。三年後の傘寿の祝い会を開く約束をして閉会した。
この会の一週間前に行われた十一月十七日同期生ゴルフ愛好会第41回SC33会ゴルフコンペが菊川カントリークラブにて参加者十二名にて行われた。会の始まった二十年前は四〇余名の参加者が年々減少し寂しい思いである。しかし当日、野田茂君のホールインワンも出現し、優勝者の秋山直彦君共々大いに盛り上がった。
（小澤功始）

辰巳会

（第60回・昭34年卒）

平成二十八年度の静商辰巳会（第60回卒業）は平成二十八年十一月十九日（土）午後五時三十分より、会場は静岡クーポール会館において開催されました。参加希望四十名のうち出席者三十五名。
第一部は、静岡商業高校の現況　新任校長就任・各部活動の成績報告
第二部は、平成二十八年度静岡商業第60回卒会定期総会で、林秀男会長は第60回卒が会費納入目標額を達成し、表彰をされたと報告がありました。
第二部は、歓談の時間を取り、各テーブル席では、各々が近況や学生時代に思いを馳せての会話が弾んでいました。
とりわけ、夏の硬式野球部の活躍に関心が移り、同期の橋本勝策君に静商野球部の監督当時の思い出を話していただきました。楽しかったこと、つらかったことなどユーモア交えての話にすっかり魅了されました。来夏29年度に期待を持とう、そして応援をお願いしたいと熱く語ってくれました。
軟式野球部ＯＢから軟式も素晴らしい成績を残していることも忘れずに一声があり、硬式だけではなく、軟式野球部にも絶大な応援をしようでしめくくりました。
終わりには、恒例の校歌斉唱、応援歌応援歌第一、二、三他はゲストとして応援団ＯＢが大きな声でエール、校歌、応援歌を友と一緒に肩を組んで声高らかに高校時代にタイムスリップして大いに盛り上がりました。
お互いに健康に留意し来年も元気でお会いしましょう。
（辰巳会清水地区
代表幹事　望月　勝）

第73回卒

（第73回・昭47年卒）

第99回卒

（第99回・平10年卒）

二〇一六年十一月十二日（土曜日）、静岡中島屋グランドホテルにおいて、七十三回卒の同期会を開催しました。
今回は、長田光明同期会長を今年六月に、そして七月に鈴木敏弘総代代表を見送っての中、一〇二名（在籍三八二名）の出席者で開催できました。
卒業以来四十四年とは思えない元気な同級生です。
次回の開催を楽しみに同期会はお開きになりました。
（事務局　原耕司）

第99回卒同期会として、平成二十九年九月十七日に第一回同期会を行いました。
卒業して、二十年ぶりの開催で楽しみにしていたのですが、当日は台風十八号が通過という事で、人数が集まるか不安でした。でも、不安は一時的なもので、受付時間になると大きなたくさんの方が集まり、最終的には一〇九名もの人数が集まりました。
当時の担任の吉田先生、袴田先生もお忙しい中、浜松からいらしてくださり、昔話に花が咲きあっという間の三時間でした。
次回の開催を約しお開きとなった。（代表　柴田修司）